

ガスプラント非破壊試験技術者資格の認証制度のご案内

非破壊試験技術者認証委員会

1. はじめに

高圧ガスプラントにおいて、保安検査及び保守検査では、耐圧性能の確認方法として、非破壊試験を適用し、キズ等の有無を確認しています。検査において検出されるキズは、非破壊試験技術者の技能に大きく影響を受けます。

当協会非破壊試験技術者認証委員会(以下JLPA認証委員会という。)では、2003年からJIS Z 2305:2001で定められた基準、規定に基づく認証制度を実施していましたが、JIS Z 2305改正により、2016年10月よりJIS Z 2305:2013に基づく認証制度を実施しております。

2. 試験を実施する工業分野

JLPA認証委員会の実施する資格試験及び認証範囲は、これまでの「高圧ガスプラント」に加え、新たにJIS Z 2305:2013に基づく「供用前・供用期間中試験(製造を含む。)」を対象としております。

3. 非破壊試験方法の種類

JLPA認証委員会では、一般社団法人日本非破壊検査協会が設置する試験方法を限定した非破壊試験方法に準じて、次に掲げるレベル1及びレベル2の技術レベルを設定しています。

- (1)極間法磁気探傷試験(G-MY)(レベル1及びレベル2)
- (2)溶剤除去性浸透探傷試験(G-PD)(レベル1及びレベル2)
- (3)超音波厚さ測定(G-UM)(レベル1)

4. 非破壊試験技術者の資格レベル

(1)レベル1技術者

レベル1の認証を受けた個人は、指示書に従って、かつ、レベル2技術者の監督の下で、極間法磁気探傷試験、溶剤除去性浸透探傷試験又は超音波厚さ測定を実施する力量を実証しています。雇用主はレベル1技術者に、資格証明書に明記された力量の範囲内で、指示書に従って次の項目を実施する許可を与えることができます。

- ①非破壊試験の装置を調整する。②非破壊試験を実施する。
- ③記載された基準に従って非破壊試験結果を記録し、分類する。④非破壊試験結果を報告する。

レベル1技術者は、使用する試験方法もしくは技法の選択又は結果の解釈について責任を負ってはならない。

(2)レベル2技術者

レベル2の認証を受けた個人は、手順書に従って非破壊試験を実施する力量を実証しています。雇用主はレベル2技術者に、資格証明書に明記された力量の範囲で、次の項目を実施する許可を与えることができます。

- ①使用する非破壊試験方法に適用する非破壊試験技法を選択する。②非破壊試験に関する法令、規格、仕様書及び手順書を、実際の作業条件に適した非破壊試験指示書に書き換える。③非破壊試験装置の調整及びその検証を行う。④非破壊試験を実施し、監督する。⑤適用される規格、法令、仕様書及び手順書に従って結果を解釈し、評価する。⑥レベル2又はレベル1の全ての作業を実施し、監督する。⑦レベル2又はレベル1の技術者を指導する。⑧非破壊試験結果を報告する。

5. (一社)日本非破壊検査協会との資格相互認証について

当協会と一般社団法人日本非破壊検査協会は、JIS Z 2305:2013に基づく非破壊試験技術者の認証制度を適用し、互いの協会に認証されている技術者が、対応する非破壊試験方法とレベルにおいて相互に認証申請を可能とする協定を締結しております。